

### 1. 本教材について

本教材は冒頭に「すべての人は幸せに生きる権利がある。このあたりまえだけど、むずかしいことについて、“だれもが幸せになれる社会を”と“同じでちがう”を通して考えてみよう」と呼びかけている。先に取り上げた「しあわせって何だろう」ともあわせて考えたい。どれも大変良い教材だと思う。本教材は「しあわせ」という一見個人的なことが社会のあり方と結びついていることを考えさせる教材である。「ハンセン病」は個人がかかる病気だが、社会的な差別や偏見、つまりまわりの眼差しによってつらい生き方を強いられた例である。他の教材についても「社会」という視点を入れることによって見える光景が変わってくる。「手品師」は、手品師が大劇場でのデビューを犠牲にして子どものところへ行ったが、子どもと連絡さえとれば、子どもを大劇場に招待することもできた。花咲山は「貧困」が自己犠牲を強いている。貧困の克服は今も昔もしあわせのための課題である。同じように平和もまた同様の課題である。戦争のない社会は皆がしあわせになるための重要な条件だ。発達段階で違いがあるにせよ、道徳を考えるためには「だれもが幸せになれる社会」を作っていくという視点を入れることが必要である。道徳は、社会の中の道徳だ、ということである。

### 2. 本教材を使用する場合、特に注意すべきだと考えたこと

- ▲まずはハンセン病に関する知識や理解をすることが重要である。子どもたちが調べたり聞いたりすることができればよいと思う。映画やアニメでも「ハンセン病」を取り上げたものがある。(資料参照)
- ▲タブレットやパソコンルームが使えるれば1時間、ネットでハンセン病を調べることができる。
- ▲キッズコーナーで調べることができるが、ハンセン病に対する国家による本格的な隔離政策は20世紀になって始まったものである。そのことに特に注意したい。

### 3. ねらい

ハンセン病に関する知識や理解をもとに、なぜハンセン病が差別や偏見にさらされてきたのか、考えたり、対話したりしながら自分の考えを深めること、他の病気では同じようなことがないかどうかについても考えることなど視野を広げることをねらいとする。

#### 4. 指導過程 (1 時間目)

	子どもの活動や教師の発問等	留意点
導入	<p>ハンセン病について知っているかどうか聞く。教科書の山内きみ江さんの例を読んで説明しても良い。</p> <p>「もののけ姫」でもハンセン病にかかった人が描かれていることを説明する。</p>	<p>興味が湧くように説明する。結果的に怖がらせるような説明をしないように注意する。</p>
	<p>各自がハンセン病について調べ、班で共有する。班で発表できるように準備する。教科書の『「ハンセン病問題」に関わる出来事』を参考にする。</p> <p>※タブレット、パソコンで調べることができれば時間を節約できる。図書室を使って調べることもできるが、資料があるかどうか、あらかじめ準備しておくことが必要。</p> <p>どちらもだめな場合は教員が資料を用意する。</p> <p>国立ハンセン病資料館キッズコーナーが下記サイトにある。  <a href="http://www.hansen-dis.jp/kids/qa.html">http://www.hansen-dis.jp/kids/qa.html</a></p> <p>子どもたちが調べ学習をした場合は班で発表する。</p>	<p>事実に関する質問にはできるだけ答えるが、「なぜ、ひどい差別をしたのか」などの質問は次回と一緒に考えようと呼びかける。</p>
まとめ	<p>発表を講評したり、要点をまとめたりする。</p>	<p>次回につながるようにまとめる。</p>

#### 4、授業を終えてのふりかえり

調べたり、調べたことをまとめるなどの学習活動ができたか。調べるための環境を整えることができたか。

## 5. 指導過程（2時間目）

	子どもの活動や教師の発問等	留意点
導入	1時間目の授業のまとめをする。いくつかの基本的な事実をあらためて確認する。	
	<p>グループに分かれる。教科書を読み、班で、内容を確認する。</p> <p>▲ハンセン病にかかった人はしあわせとは言えなかったと思うが、どうしてだろうか。</p> <p>▲どうすればハンセン病の人がしあわせになっただろうか。</p> <p>▲今、ハンセン病が発症したらどうすればよいだろうか。</p> <p>以上の問い以外に考えなければいけないテーマがあれば班で発表する。各班で意見をまとめ発表する。</p> <p>現在も宿泊拒否などがあることを紹介して考えてもらおうと良い。 「ハンセン病問題は解決した」と言えるのでしょうか、という教科書の間はどう答えるか考えてもらおう。</p>	<p>教科書の内容について質問があれば説明する。</p> <p>班を回ってさまざまな意見が出ているかどうか、確認する。</p> <p>教科書に記述があり、該当箇所を読んでも良い。</p>
まとめ	<p>道徳の教材を読む際、その人のしあわせ、不幸せを、社会との関係とで考えみたらどうか、と投げかける。</p>	

### 4、授業を終えてのふりかえり

子どもの意見が自由に伸び伸びと言えたか、子ども同士の対話ができただろうか、その中で自分の考えを深めることができたか、という視点で授業をふり返り、その中で自分と他の子どもとの違いに気づくことができたか。

教師としてはあらかじめ予想していなかった子どもの意見に沿うことができたか、ということにも注意したい。

### 参考資料について

「未来への虹 ぼくのおじさんはハンセン病」(30分)というアニメがある。30分でハンセン病の概要がわかるアニメである。